

九州北部大雨5人死亡

3人不明 福岡、佐賀で土砂崩れ

活発化した梅雨前線の影響で10日、福岡、佐賀、大分の3県で線状降水帯が発生するなど九州北部を中心に非常に激しい雨となった。各地で土砂崩れや河川の氾濫が起き、福岡、佐賀両県では土砂崩れや車の水没などで5人が死亡した。他に3人の安否不明者の情報があり、捜索が続いた。気象庁は福岡、大分両県に10日朝、大雨特別警報を発表したが、午後5時半、警報に切り替えた。引き続き土砂災害などに厳重な警戒を呼びかけている。

(3面に写真グラフィック、2、29面に関連記事)

福岡県添田町の住宅に土砂が流入し、男女が発見された。福岡県久留米市と丸町では裏山が崩れ、付近に流されたとみられる計2人の住宅に土砂が流入。70

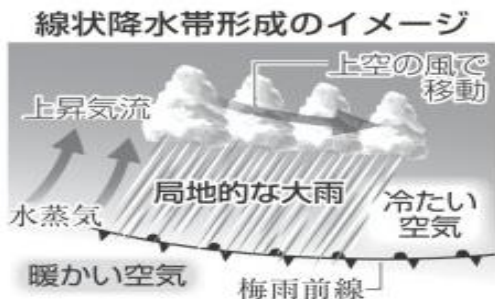


住宅などが巻き込まれた福岡県久留米市田主丸町の土砂災害現場。10日午後4時8分

代男性の死亡が確認された。一時6人の安否が不明となったが、救助活動が終了し、不明者はいなくなった。

- 久留米市田主丸町**
住宅に土砂が流入し、男性死亡
- 久留米市**
水没した車に乗っていたとみられる男性死亡
- 広川町**
水没した軽トラックから救助された男性死亡
- 添田町**

福岡 大雨の死者・不明者



①線状降水帯の説明文の空欄を埋めましょう。

次々と発生する発達した が列をなし、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することでつくりだされる に伸びた、 を伴う雨域

警戒レベルと避難情報

警戒レベル	避難情報の名称	状況	住民が取るべき行動
5	A	災害発生または切迫	命の危険ただちに安全確保
＜警戒レベル4までに必ず避難！＞			
4	B	災害の恐れが高い	危険な場所から全員避難
3	C	災害の恐れあり	危険な場所から高齢者や障害者は避難

※レベル2、1は省略

②左の表のA-Cを漢字4～6字で埋めましょう。

A = 、 B = C =

③豪雨でAのとき、どう行動したらいいか、空欄を埋めましょう

既に安全な避難ができず、命が危険な状態のときで、指定緊急避難場所に するのが危険な場合は、自宅の2階以上や近隣の少しでも高い堅牢な建物へ する

添田町	住宅に土砂が流入し、女性死亡
唐津市	住宅に土砂が流入し、女性1人死亡、男性2人安否不明
中津市	川に流された女性が安否不明

佐賀県唐津市では住宅2棟に土砂が流入し、50〜70代の男女計3人と連絡がつかなくなり、女性1人の死亡が確認された。男性2人が安否不明。大分県中津市耶馬溪町では50代女性が川に流されたとの通報があった。

10日午後4時時点の24時間降水量は、福岡県添田町で42.3ミリ、同県久留米市で40.2・5.5ミリと観測史上最多を更新。佐賀県鳥栖市



※気象庁による

前線は11日にかけて停滞し、西日本から北日本の広い範囲で大気の状態が非常に不安定になる見通し。局地的に非常に激しい雨が降る恐れがあり、特に九州北部は降り始めからの雨量が600ミリを超えた地域があり、土砂災害や洪水の危険度が高くなっている。

で326・5ミリ、大分県中津市で315・5ミリを観測した。

NIEワークシートのこたえ（2023年7月18日公開）

◆ワークシート「九州北部大雨5人死亡」
2023.7.11付朝刊1面ほか 解答例

①積乱雲 線状 大雨

②A＝緊急安全確保、B＝避難指示、C＝高齢者等避難

③避難 垂直避難

※災害時の避難所についてあらためて確認し、避難方法について家族で話し合いましょう